

2021年「配管システム等研究助成」実施要項

公益財団法人 イハラサイエンス中野記念財団

■助成趣旨

日本における機械装置の配管システム及びシステムを構成する製品分野の研究に対して助成することにより、研究を促進し国内の科学技術分野の振興に寄与する。

■助成内容

応募資格	機械装置の配管システム及びシステムを構成する製品分野の研究であって、公的な学術研究機関において実施されるもの。
助成期間	単年度を原則とする。
助成金額	助成金総額 100万円/1件 10件程度
応募方法	本財団所定の申込用紙に所定事項を記入の上、書留郵便にて本財団宛送付する。 受付締切日 2021年5月30日（必着）
選考結果通知	選考結果は2021年6月下旬に研究者及び推薦者に通知する。
支給方法・日	選考後、追って通知する。
報告書の提出	助成を受けた研究者または共同研究者は、2022年3月末日までに、研究の成果報告を提出すること。 尚、研究成果を発表する時は、「公益財団法人イハラサイエンス中野記念財団」（英文は The Ihara Science Nakano Memorial Foundation）の助成による旨を書き添えること。 （様式は決定時に併せて送付致します。尚、報告書の提出がない場合は、次年度の推薦を受け付けない事があります。）
研究成果公表	研究成果は論文等で公に公表すること。公表後、イハラサイエンス中野記念財団の会議にて成果報告すること。

※選考結果および報告書はホームページにて掲載いたしますので、ご了承ください。

■書類送付先

〒108-0074 東京都港区高輪3-11番3号
公益財団法人イハラサイエンス中野記念財団
TEL 03-6721-6988 FAX 03-6721-6993

公益財団法人 イハラサイエンス中野記念財団

研究助成金 申込書 書き込み要領

1 研究の名称

研究内容に沿った名称とする

2 研究の目的

本研究の全体構想として、何が達成できれば良いか、狙いは何か等、具体的に表記する

3 本研究の背景

本研究の着想に至った経緯、関連するこれまでの研究活動等
(研究水準の現状・実績)

4 対象とする学術学問分野

材料開発、加工法開発、システム開発等 各分野の種類
(流体力学、材料力学、熱力学、構造力学等の各力学分野、または管理・制御
や自然科学等の大まかな分野の区分け)

5 研究の先進性・発展性・重要性 等

本研究内容の先進性、発展性、重要性 等について具体的に記述する
研究終了時に期待される成果、効果等
他分野への応用、融合、発展性、波及的效果、等
(革新的・創造的・独創性・新規性)

6 その他

特記事項 等

公益財団法人 イハラサイエンス中野記念財団 殿

日 付	年	月	日
研究機関名			
代表者氏名			

研究助成金 申込書

1 研究の名称
2 研究の目的
3 研究の学術的背景
4 対象とする学問分野
5 研究の先進性・発展性・重要性 等
6 その他

日付	※※※※年 ※※月 ※※日
研究機関名	※※※※大学
代表者氏名	※※※※科 ※※ ※※ ※※

研究助成金 申込書

1 研究の名称	オーステナイト系ステンレス材の表面改質
2 研究の目的	オーステナイト系ステンレス材の耐腐食性能を維持したまま、高度アップなどの表面改質を目指す。
3 研究の学術的背景	オーステナイト系ステンレス材の改質については、既存技術である浸炭、窒化、また塑性加工による加工硬化があるが、耐腐食性能については、ほとんどの処理で性能劣化しており、材料の使用範囲狭めている。(現状は有効な手段は少ない)
4 対象とする学術学問分野	金属材料
5 研究の先進性・発展性・重要性 等	<p>オーステナイト系ステンレス材の表面改質を行うことにより、一般鉄鋼材の肌焼き処理と同等の効果が期待できる。この時、耐腐食性能の劣化がなければ、機械構成部品としての用途が拡大し、既存製品の性能アップにつながる。</p> <p>発展性について 例として流体に直接接するバルブやメカニカル継手では耐腐食性能を要求される例が多いが、これらの耐久性能(耐摩耗、低パーティクル)や軽量化に貢献できる。 その他の耐腐食性能を要求される機械要素部品にも展開できる。</p>
6 その他	